

タイトル

ほっこりお寺に里帰り

サブタイトル「地域みんなが一つの家族に」

応募者

今井 さつき さん（奈良県、学生）

アイデアについて

① アイデアのタイトル

ほっこりお寺に里帰り

サブタイトル「地域みんなが一つの家族に」

②アイデアの概要（目的・方法・効果などを、200字以内でお書き下さい。）

ふとした時、近くを通りかかった時、誰かに会いたくなった時、いつでも誰でも帰って来れる皆の故郷。お寺を中心に地域住民も一体となり、その地域ならではのおもてなしで地域活性化と人口増加を促すことを目的とする。

地域住民による地域ガイドから、お寺ステイで選べる生活体験コース、そして、決まった曜日に開かれるカフェや手作り市など、地域の特性を活かした方法でリピーターの増加から地域住民増加の効果を図る。

③アイデアの内容（できるだけ具体的にお願い致します。）

添付参照



地域みんなが一つの家族

ふとした時、近くを通りかかった時、誰かに会いたくなった時、
いつでも誰でも帰って来れるふるさとかここにある...

誰もが一度は聞いたことがあるような観光地のお寺や、厳しい修行や
戒律で知られるお寺とは違う、地域の人々の手で大切に守り伝えられ
てきた、日々の暮らしに寄りそうお寺。

そんな、どこか懐かしく温かなお寺の大きな屋根の下で古き良き
日本の文化、風習に触れ、人々との豊かなかきを感じてもらう。

そしてまた来なくなる第二のふるさとへ...

これから紹介する、お寺ステイを中心とした一連のお寺と地域ならではの
取り組みは、たった1日しか、いることのできない人でも、ここでしか味わう
ことのできない体験、ステキな出会い、お寺生活を満喫し、自分だけの
また帰りたくなるふるさとをつくることかできます。

そして何度も何度も訪れるたびに愛着かき、生活体験と地域住民
との触れ合いを通じて地域での暮らしを知る。これらの地域とお寺による
持続可能な取り組みによって、将来的にはリピーターから地域住民と
なり、過疎地域での更なる新しい魅力発見と活躍に期待できるよう
になります。この一連の活動を持続維持していく事で地域活性化と
人口増加に大きな影響を与えたと考えます。また、お寺を通じて地域
活性化を図ることでお寺と地域との強い結びつきかできます。1つ
の目的に向かての協力体制か普段からできていると、人々
の安全にも豊かなかき、活性化以外にも生活面で大きなメリットを
生むのではないでしようか。全てをプラスに繁なげていくため、さあ！
みんなで一歩踏み出しましょう！

大きな温もりを小さなお寺から...



お寺ステイ! 選ぼう!生活体験コース!

これは、お寺に来て
ただ泊まっていたくのでは
なく、その地域とお寺ならではの体験
を自分の好きなコースを選び、無理なく
ゆったり楽しんで、お寺の生活、そして地域
への理解を深めていただくお寺ステイです。

- 希望により、
- ① お寺本来の写経や朝夕のお勤めへの参加 (勤行)
 - ② ご住職の法話
 - ③ 地元の方も一緒に民芸品作り
 - ④ 地域ならではの素材を使った食品作り。(料理・お菓子)
 - ⑤ 地元のおすすめスポット巡り(地元ガイドによる)
 - ⑥ 地元野菜を育てよう(お寺の境内や、地域の畑で)
- ...等々の体験を用意。＊コースは複数選択可

※ 修行コースを終了すると、そのお寺のみで通用する仏弟子の
名前が登録され、与えられる、こういったコースごとに無理
なく、お面白い特典を付ける。

※ 作業衣はレンタル有

※ 料金に関して(宿泊&コース)は地域によって経済状況が異なる
ので、そこはお寺と地域住民との相談の上無理のない金額で。
前後です。



参考までに、

ゲストハウスやユースホステル
では1泊素泊まりで¥3000
前後です。

そして!決まった曜日(月2,3回)に...



お寺と地域のイベントとして月2回程度(例第1,
第2,第3,第4土曜など) お寺カフェとふるさと市を同時
開催し、定例化してホームページを作り、定着させる。
季節ごとの旬の物や特産品等、写真入りで掲載すると
より宣伝効果が高い。

カフェは定着するまでは月2,3回で、調理はお寺の
調理場か、なければ仮設で小さなものを用意する。
食材は、もちろん地域の特産品。山奥の過疎地なら
では広い土地を活かして作った物で、昔ながら
の田舎ごはんやお菓子等ふるさと市の味と都会から来る人、
又は同じ田舎でも違う地域の味を楽しみたい人に、
味わってもらおう。(村のお母さん達、お寺の方々に協力
してもらい、みんなで村の味を作る。) 食べている時に
食材の説明をし、それを作るのに使った食材をふるさと市
で売っているのを買ってもらう。こうして、この地域ならではの
「ふるさとの味」を作り上げ、人々に広めていく。

※ ふるさと市は、お寺ステイの人はもちろん、
HPや口コミで広がり、この日を楽しみに
来てくれるリピーターがでる事を目的と
する。また、ふるさと市は特産品や手芸等の
手作り品を売っているが、普段でも小さい
市を常設して、ききでも立ち寄った際に、買っ
けるような仕組みにするといい。

B級グルメお寺
バージョンのために、
お寺ならではのメニュー
や、限定のお寺弁当
を開発するのもいい。

夜はお寺で家族だんらん

ここでは、お寺の一つ屋根の下、一つ月かりのもとに集まった人たちが大きな大きな一つの家族です。ご住職や地域の人々を囲んで法話や昔伝えに耳を傾け、四方山話にふけるのも一興ではないでしょうか？
 ということで、夜8:00から等時間を決め、お寺ステイの人がいる時はもちろん、週1、2回曜日を決めて、地域の人々同士、また地域の人とお寺の人、そして、その人たちとお寺を訪れる方々で交流を図り、皆で楽しくお話をしながら地域やお寺に対する関心を深めてもらうことを目的としています。
 また、その際に地域同士の情報交換もできれば、これからの取り組みの参考になると考えます。



これら一連の情報を多くの人に知ってもらうには...

お寺同士、そして地域活性化に取り組む学生たちとの連携!!



お寺会議



※ 過疎地域のお寺同士の連携は難しいと思いますが、お互いに現状を知り、どういった取り組みを行っているのか知る事は、お互いの外にもつながり、大切な事だと思います。共にこうに取組を考えているお寺の人々の意見を交換できるお寺会議の様な場を月に1回設け、各地域から住職と住民1人ずつ出てきて参加し、フリーペーパーの話など、連携を図ると良いと考えます。

どれほどステキな活動や取り組みがあっても人が知らなければ、集まらなければ意味がなくなってしまう。そして、この地域に行きたい! お寺で生活してみたい! と思ってもらうには、その魅力をアピールすることが大切であると考えます。今回のテーマである過疎地域だとパソコンやインターネット等を使う方が少ない場合があります。そういった時、地域活性化に取り組む大学生や地元の学生たちと連携し、周辺案内マップを作り、また過疎のお寺同士が連携して、過疎地域の各お寺の取り組みやイベント、お寺ステイをしているお寺等の情報を掲載したフリーペーパーを作り、各お寺に設置する。または学生と協力し他地域の学校や施設に置いてもらったり、インターネットを通じて情報を発信することから効果的であると考えます。実際に地域活性化について学ぶ私の大学でも、ゼミで商店街の活性化や中山間地域等、過疎化が進む地域との連携を行って、活動しているので、不可能ではないと考えます。

お寺と学生の連携や、ふるさと市など、活動やイベントの定例化・持続により、若い人たちが過疎地域に定住・移住に事例があります。